

令和2年度（上期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 市民自治 部 環境政策 室 みどり自然 課

1. 基本情報

402

施設名	伊丹市昆虫館		
施設の設置目的	昆虫その他身近な自然とのふれあいを通じた市民の自然環境学習を推進することにより、生物の多様性及び自然との共生への理解を深めるとともに、自然に関する学術文化の振興に寄与する。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： 環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち 施策目標： 水とみどりの豊かな自然環境の創出と再生 主要施策： 自然環境との共生		
指定管理者の名称	公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	入館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の施設入館者	
	今年度の目標値	145,000	上期の実績値 48,341

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H28	H29	H30	R元	R2 (上期)	R2 (通期)
	入館者数 (人)	146,448	110,978	80,355	165,807	134,920	48,341	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

	区分	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020) 計画	令和2年度 (2020) 実績 (上期)
収入	使用料収入	0	27,424	30,577	11,225
	事業収入	0	304	41	70
	その他	0	0	0	0
	指定管理委託料	136,459	109,017	108,519	69,526
	①合計	136,459	136,745	139,137	80,821
支出	維持管理				
	光熱水費	9,404	8,338	8,937	3,229
	清掃等委託料	12,881	12,972	12,508	4,745
	土地建物賃料	0	0	0	0
	修繕料	4,132	4,138	4,124	2,958
	運営				
	人件費	77,142	79,539	81,409	33,783
	事業等経費	25,354	24,346	25,041	7,295
	その他	6,665	7,252	7,239	2,843
	指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	135,578	136,585	139,258	54,853
	純収支 (①－②)	881	160	△ 121	25,968

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ 〈単位:千円〉		H27	H28	H29	H30	R元	R2 (上期)
	市の収入	28,768	22,459	15,799	34,109	0	0
	(内、使用料収入)	28,344	22,131	15,668	34,022	0	0
	市の支出	134,712	129,988	119,252	136,459	109,017	69,526
	(内、指定管理委託料)	134,712	129,988	119,252	136,459	109,017	69,526
	実質経費 (歳出－歳入)	105,944	107,529	103,453	102,350	109,017	69,526

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	B	利用者が快適かつ安全に利用をして頂けるように、館内の安全管理及び清掃には最大限の配慮を払っている。修繕は担当課と協議しながら適切に行っている。	B	館内の清掃は十分行われ、常に清潔に保たれている。保守点検・備品管理・修繕業務は適切に行われている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	専門分野の見識を深める研修等への参加だけでなく、接遇等の研修についても積極的に実施している。	B	館の管理運営に必要な技能及び資格を持った職員が配置されている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	緊急時の連絡体制は適切に機能しており、防災訓練も実施している。	B	緊急時の連絡体制は整っている。避難訓練は実施されている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	新型コロナ対策として、来館者の安全確保のための入館制限、消毒等を適切に行った。また、混雑状況等館の最新情報を逐次WEBサイトにUPし、分散入館を促した。	A	利用者の意見や苦情等に対して適切に対応しており、大きなトラブル等発生していない。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	感染症対策と来館者対応を両立した運営を行った。	B	感染症対策を講じながら、効果的な事業の実施に努めた。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	新型コロナで休館中も、館内の様子や活動内容をインターネットを活用し、積極的に情報を発信した。	B	インターネットを活用した情報提供に積極的である。特に休館中はチョウ温室の動画配信をはじめ色々なコンテンツを提供した。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	収支計画に基づき、適正な運営及び経理処理を行っている。	B	収支計画に基づき運営されている。経理処理は適切である。
		経理処理は、適切に行っているか。	B		B	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「―」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	新型コロナウイルス感染症の影響により、当施設は昨年度末から6月2日まで臨時休館した。また、開館後も入館制限の実施等、通常と異なる状況下での管理運営となった。当施設の特徴である体験型展示の実施が制限される中で、動画の配信など、様々な方法で昆虫館の魅力向上に努めた。今後も同様の状況が続くと考えられるが、引き続き当施設の魅力向上につながる管理運営に期待する。
総合評価	
B	

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応

実施の有無	主な回答	主な対応
無し	新型コロナウイルス感染防止の観点より実施していない	—
回答者数		
—		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置